

お知らせ



このたびは、シトロエンの車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。仕様の変更により、取扱説明書の本文の記載と異なる部分がありますので、以下のように追記させていただきます。

目次

第3章の内容について

- ドライバーアテンションアラートについて Page 2
- フロント/サイド/バックソナーについて Page 2

第5章の内容について

- 日付と時刻の自動設定について Page 8
- 先進運転支援システム（ADAS）の設定項目一覧について Page 9

第8章の内容について

- 音声コマンドの設定について（ナビゲーション装備車） Page 10

第3章の内容について

○ドライバーアテンションアラートについて

モデル	取扱説明書 該当ページ
C4	3-42
e-C4	3-33
C5 X PLUG-IN HYBRID	3-33

各モデルの一部の車両において、ドライバーアテンションアラートをオフにすると、インストルメントパネルに、以下のドライバーアテンションアラートの警告灯が点灯するようになりました。

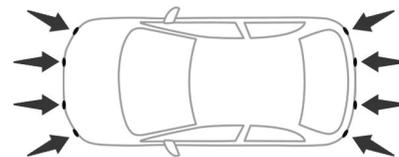


○フロント／サイド／バックソナーについて

モデル	取扱説明書 該当ページ
C4	3-77
e-C4	3-68
C5 X PLUG-IN HYBRID	3-70

各モデルの一部の車両において、フロント／サイド／バックソナーの仕様が変更されました。
フロント／サイド／バックソナーの機能については、次を参照してください。

フロント／サイド*／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知して、警告音、タッチスクリーンの表示、インストルメントパネルの警告灯で運転者にお知らせします。



- フロント／サイド／バックソナーをオフにすることはできません。
- エンジン／ハイブリッドシステム／EVシステムを始動した直後は、タッチスクリーンが完全に起動するまで画面表示や警告音でのソナーの警告は行われません。

* 仕様により異なります。

● システムの作動

システムは、次のときに作動開始します。

バックソナー

- ・シフトポジションを **R** にしたとき
- ・後退しているとき (例えば下り坂など、シフトポジションが **N** の場合も含む)



- システムが作動開始すると、チャイムが 1 回鳴るとともにタッチスクリーンに画面が表示されます。ただし、以下の場合などは、作動開始時にチャイムは鳴りません。
 - ・警告音がミュートされている場合
 - ・下り坂などで後退した場合 (シフトポジションが **N** のときなど)
 - ・システムを手動で作動させた場合*
- システムの作動と同時に障害物との接近が検知された場合は、チャイムは鳴らず、ソナーの警告音が鳴る場合があります。
- 次のときはシステムに異常が発生している場合があります。
 - ・システム作動時にチャイムが鳴らないとき



- ・障害物に接近してもソナーの警告音が鳴らないとき
- ・タッチスクリーンに画面が表示されないとき
- ・障害物に接近してもタッチスクリーンに障害物との距離を表示するバーが表示されないとき
- ・警告メッセージが表示されたとき

フロントソナー

時速 10km 以下で走行中に車両前方の障害物が検知されたとき



- フロントソナーは、次のときに作動を停止します。
- ・時速 10km 以上のとき
 - ・障害物が車両前方の検知範囲から出たとき
 - ・シフトポジションが **D** または **M** / **B** で数秒間停止したとき

● 手動で作動させる*

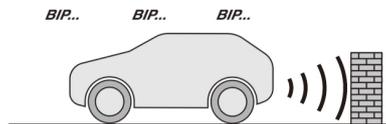
仕様により、シフトポジションが **R** のとき、次の方法で手動でシステムを作動させることができます。

1. をタップします。
 は、ダッシュボードのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2. をタップします。
3. **機能** をタップします。
4. **パーキングセンサー** をタップします。



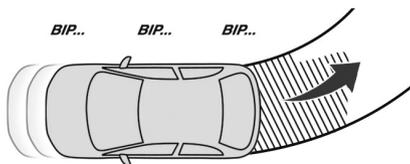
システムを手動で作動させた場合、作動開始時にチャイムは鳴りません。

● ソナーの警告音



システムは、警告音で障害物とのおおよその距離をお知らせします。

障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ 30cm 以内に接近すると連続した警告音に変わります。



障害物の検知範囲は、ハンドルを切った角度に応じて変化します（仕様により異なる場合があります）。例えば、ハンドルを右に切った場合は、障害物の検知範囲が右方向に変化します。

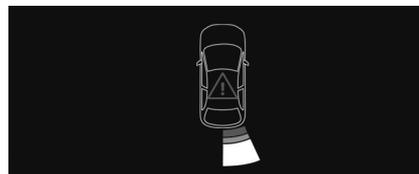


●仕様により、車両が停止すると数秒後に警告音が消音される場合があります。再度車両が動き出す、または障害物が車両に接近すると、警告音が再開されます。

●  タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、警告音の音量を調整できます。

●  タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコンをタップすると、警告音をミュート/ミュート解除できます。アイコンをタップして警告音をミュートしたあと、シフトポジションを R 以外にしてから再度 R にしても、消音状態が維持されます（仕様により異なる場合があります）。再度アイコンをタップしてミュート解除してください。

● ソナーの表示



システムは、警告音に加え、タッチスクリーンの表示の色で障害物とのおおよその距離をお知らせします。

- ・白色のバー：遠い
- ・橙色のバー：近い
- ・赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

 また、システムが障害物を検知している間は、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点滅します。



●画面右上の×をタップすると、タッチスクリーンの表示が消え、タッチスクリーンの画面による警告表示を行いません。

*仕様により異なります。



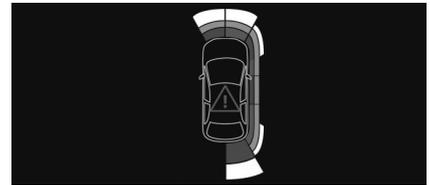
●画面右上の×をタップすると、タッチスクリーンの表示が消えるとともに、ソナーの警告音が一時的に消音されます。その後、シフトポジションを **R** 以外にしてから再度 **R** にしても、消音状態が維持されます。タッチスクリーンの画面左側に表示されるメニューのアイコン  をタップしてミュート解除してください。また、以下の場合には自動的にミュート解除されます。

- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする
- シフトポジションが **R** のときにタッチスクリーンの先進運転支援システム (ADAS) の設定ページでフロント/サイド/バックソナーを手動で作動させる *
- タッチスクリーンの先進運転支援システム (ADAS) の設定ページで 360° ビジョンを手動で作動させる *



●運転者の操作によって、警告音がミュートされている場合や、タッチスクリーンの表示が消されている場合でも、システムが障害物を検知している間は、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点滅します。

● サイドソナー *



サイドソナーは、フロント/バックソナーが検知した車両前方または後方の障害物の位置を元に、障害物が車両側面に接近したと判断された場合に障害物とのおおよその距離をお知らせします。



- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにすると、検知した障害物の位置の記憶は消去されます。
- サイドソナーは、人や動物など、動いている障害物を正しく検知しないことがあります。また、ソナーの検知範囲外にあった障害物が車両側面に侵入してきた場合も正しく検知しないことがあります。

● システムの異常

P)) ▲ システムに異常が発生したときは、短い警告音または長い警告音とともにインストルメントパネルのソナーの警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。シトロエン指定サービス工場にて点検を受けてください。

P)) ▲ 仕様により、センサーが覆われ、センサーの性能が発揮できなくなると、インストルメントパネルのソナーの警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジン／ハイブリッドシステム／EVシステムを停止してください。その後、センサーがステッカーなどで覆われていないか、物などでセンサーが覆われていないか確認してください。また、泥や雪などが付着していたら、汚れを取り除いてください。

センサーの性能が発揮できる状態になるとシステムの作動が再開し、警告灯が消灯します。



以下のときはシステムの機能が制限されたり、システムが作動しない場合があります。

-  **SERVICE** 警告灯が点灯したとき
- タッチスクリーンの画面がフリーズしたとき
- タッチスクリーンの画面が真っ暗で何も映らないとき
- スピーカーに異常が発生したとき

⚠ 警告

- 以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
 - センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
 - 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
 - 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）
 - 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
 - フロント／リアバンパーに損傷があるとき
 - フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
 - 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠ 警告

- 以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
 - 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
 - 背の低いもの
 - 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）
 - 縁石などの低い段差
 - 工事などによる路面の凹凸
- フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ずシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも 30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。



- 車両を停止させなければならないような重大な異常が発生した場合は、システムが解除される場合があります。
- トランスミッションに異常が発生した場合は、シフトポジションを **R** にしてもシステムは作動しません。
- スピーカーに異常が発生した場合は、ソナーの警告音は鳴りません。
- 以下のようなときは、障害物がない場合でもシステムが警告を発する場合があります。
 - 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき



- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- シフトポジションを **R** にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。
- フロント／リアバンパーの真下付近や車両の下は検知しません。

第5章の内容について

○日付と時刻の自動設定について

モデル	取扱説明書 該当ページ
C4	5-16
e-C4	5-19
C5 X PLUG-IN HYBRID	5-21

各モデルの一部の車両において、日付と時刻の自動設定の仕様が変更されました。

日付けと時刻の自動設定については、次を参照してください。

●日付と時刻の設定

日付と時刻の自動設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、ダッシュボードのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **システム** をタップします。
4. 日付／時刻の表示をタップします。

日付／時刻の自動設定

日付と時刻は自動的に調整されるように設定できます。

ネットワークによる設定

1. **日付／時刻の自動設定** をタップしてオンにします。
2.  をタップします。
3. **ネットワークによる時刻供給** が選択されていることを確認します。

GPS による設定（ナビゲーション装備車）

1. **日付／時刻の自動設定** をタップしてオンにします。
2.  をタップします。
3. **GPS による時刻供給** が選択されていることを確認します。
4.  をタップします。
5. 現在のタイムゾーンの設定値をタップします。
6. **(GMT + 9:00)ソウル、東京、ヤクーツク** をタップして選択します。



- 仕様により、日付／時刻の自動設定は、ネットワークによる設定またはGPSによる設定のうち、どちらか一方のみが選択可能な場合があります。
- 日付／時刻の自動設定を選択しても正しい日付／時刻に調整されない場合は、手動で設定してください。

* 仕様により異なります。



●時刻形式は次の中から選択できません。

・12 時間制

・24 時間制

●日付形式は次の中から選択できません。

・DD/MM/YYYY

・MM-DD-YY

・YYYY-MM-DD

●をタップしても日付と時刻の設定ができます。

は、ダッシュボードのボタン を押してから画面を左右にスワイプしたいすれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。

○先進運転支援システム(ADAS)の設定項目一覧について

モデル	取扱説明書 該当ページ
C4	5-21
e-C4	5-23
C5 X PLUG-IN HYBRID	5-25

各モデルの一部の車両において、先進運転支援システム(ADAS)の設定項目の仕様が変更されました。

仕様が変更された車両では、先進運転支援システム(ADAS)のオン/オフページで、**パーキングセンサー**をタップしても、フロント/サイド*/バックソナーのオン/オフはできません。

パーキングセンサーをタップすると、シフトポジションがRのとき、フロント/サイド*/バックソナーが作動します。



フロント/サイド*/バックソナーについての詳細は、この追補版 Page 2の「フロント/サイド*/バックソナー」項を参照してください。

第8章の内容について

○音声コマンドの設定について (ナビゲーション装備車)

モデル	取扱説明書 該当ページ
C4	8-43
e-C4	8-43
C5 X PLUG-IN HYBRID	8-45

各モデルの一部の車両において、音声コマンドの設定ができるようになりました。
音声コマンドの設定については、次を参照してください。

●音声コマンドの設定

音声コマンドの設定を行うには、まず次のように操作してください。

1.  をタップします。
 は、ダッシュボードのボタン  を押してから画面を左右にスワイプしたいずれかのホームページ、またはタッチスクリーンを指3本でタップすると表示されます。
2.  をタップします。
3. **音声アシスタント**をタップします。

Hello Citroen (ハロー シトロエン)の聞き取りのオン/オフ

Hello Citroen (ハロー シトロエン)と発話して音声コマンドを開始する機能をオン/オフすることができます。
オン/オフするには、「Hello Citroen」を聞き取るをタップします。

発話内容の再利用について

音声アシスタントの改善のために、音声コマンドを使用して発話した内容を再利用します。
発話内容の再利用の許可/不許可は、選択することができます。許可/不許可を選択するには、**データの再利用**をタップします。



発話内容の再利用を許可すると、音声コマンドを使用して発話した内容の文字情報が、暗号化されたあと保存されます。車両の位置情報、音声録音などは保存されません。

